

Handsome

CONTENTS ◆年頭のごあいさつ ◆12月例会・忘年懇親会開催

●社会人交流会 ●45周年実行委員会各部紹介 ●卒会者便り ●四十の手習い

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会

第44期 会長 秋里 武信

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、鳥取県中小企業団体中央会をはじめOB会の皆様、そして各関係機関及び会員所属企業並びにご家族の皆様など、当会の活動に格別なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も旧年同様変わらず、宜しくお願い致します。

今年度、第44期は、スローガンを『使命感』、テーマを『貪欲に学ぶ』と掲げ、各委員会ともに委員長を中心に工夫を凝らし、会員の為、地域社会の為に考えた使命感溢れる活動を行って参りました。

多数のご来賓・OB会員様のご参加をいただきました7月の総会懇親会から始まり、8月は委員長・副委員長による納涼例会、9月はビジネス経営委員会による財務諸表に着目した勉強会、10月は政治行政委員会による県立ハローワークより講師をお招きしての人材確保に着目した勉強会、11月は地域ビジョン委員会によるお地蔵さまプロジェクトに因んだ会員家族をお招きしてのレクリエーション例会、12月は広報委員会によるブランディングをテーマとした勉強会と、6回の例会を開催しました。

また、総務・45周年記念事業委員会を中心に企画・運営をお願いしておりました45周年実行委員会も2回開催され、45周年へ向けての準備もスタートしました。

その他にも、トライアスロンの協力支援、松江水郷際への出店、がいな祭りのボランティア、ジュニアトライアスロンのボランティア、青経連事業、会員拡大の一環として企画していただきました『社会人交流会』の開催と、地域との交流にも積極的に参加致しました。

そして、いよいよ後半戦がスタートします。

各月例会の充実は勿論の事、45周年へ向けての準備を進め、4月にはプレイベントとして45周年記念ゴルフコンペを企画しております。また、5月には継続事業でもあります『第4回 大山お地蔵さまフェスティバル』も開催致します。

平成最後の年、そして新時代の幕開けの年に相応しい事業を、更には45周年、50周年へと繋がる事業を、会員が一丸となって使命感を持ち、創って参ります。

2019年、皆様のご健勝とご多幸をお祈りすると共に、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

鳥取県中小企業青年中央会

第44期 会長 濱田 修



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、皆様に県青中の活動に関しまして格別のご厚情を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、世間では何かとモラルや品格を問うような事件やニュースが多かったように思います。SNSの普及もあって情報が凄まじい速度で拡散できるようになったこと、様々な人が気軽に不特定多数への発信者となり得ることも背景にあると思いますが、いずれにしても中小企業においてもコンプライアンスがこれまで以上に重要になっていることは間違いのないと思います。今一度リーダーであるという自覚を以て自身或いは社内外について見つめ直すことも必要かと思ひますし、他の事柄も含め、我々は企業人としても会としても時代の潮流にシなやかに対応しなければならないと思うところです。

さて、今期は「共鳴和音」のテーマの下、7月の通常総会・懇親会を皮切りに9月には委員長・副委員長交流会の開催と京都で開催されました団体中央会全国大会への参加、11月には親睦事業の実施と上半期の活動を展開して参りました。委員長・副委員長交流会では其々の地区の特色を互いに理解し、その上で議論と交流を重ねることで委員長、副委員長の皆様の今後の活動の一助として頂けるような内容に出来たのではないかと思います。また、親睦事業では株式会社SC鳥取様をお招きし、スポーツを通じて会員間の親睦を図りましたが、手頃楽しめる程度の運動であったこともあって和気藹々と非常に盛り上がる事が出来ました。

県青中の活動の意義は、学びや自己研鑽もそうかも知れませんが、各地区でそれらに重きを置いて活動していることを考えると、やはり第一は他地区との交流になるのかと思います。昨今の地方経済や中小企業を取り巻く状況は相変わらず厳しく、労働力不足や働き方改革、事業承継など何かと問題、課題もありますが、これらの諸問題、或いはビジネスチャンスなどについて一緒に向き合える仲間が地区の垣根を越えて全県下に存在するという事は大きいと思います。このような関係性を築くことは会員所属企業の財産でもあり、会員個人の財産でもあり、そして県青中の会員の強みかと思ひます。しかし、これも会の事業に参加してこそ生まれる縁でありますので、是非とも今後も積極的な参加をお願いしたいところであります。

残る下半期も「共鳴和音」のテーマの下、益々会員間の連携が取れ、団結出来るよう邁進して参りたいと思ひます。会と会員の皆様の為の使命感、責任感を胸に後半戦もしっかりと活動して参りたいと思ひますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

45周年実行委員会 提言部 記念誌部 紹介

提言部 部長 内田 隆嗣 (株)クローバーホールディングス 代表取締役会長)

鳥取県西部中小企業青年中央会が45周年を迎えるにあたり、45周年実行委員会提言部の部長を拝命いたしました株式会社クローバーホールディングスの内田隆嗣と申します。当会が45年の節目を迎えるにあたり、鳥取県西部の産業の一端を担う青年経済団体としての立場を明示し、更なる成長を目指すための指標として、その姿勢と決意を内外へ向け宣言した40周年《提言書》を検証し、当会会員の実像と意識を明確にするための調査を実施してまいります。また、50周年に向けて、当会会員がどのような未来ビジョンを有しているのかを図り、その調査結果を40周年提言の検証と合わせ、45周年《提言書》という一枚の御旗に仕立て上げ、今後の活動指標として掲げたいと思ひます。更に、20周年から実施されている基礎的事項を定期的に調査し、後世のための企画及び運営に必要な基礎資料を得ることも目的としております。提言部一同、全力で取り組んでまいりますのでご指導ご鞭撻のほど、何卒、宜しくお願い申し上げます。



記念誌部 部長 長谷川 恵一 (HASEGAWA テクニカ株)

45周年事業実行委員会、記念誌部の部長を拝命致しました長谷川恵一です。記念誌部は、総務・45周年記念事業委員会の今川会員、仲佐会員と広報委員会のメンバーで活動させていただいており、当会が45周年を迎えるにあたり、過去5年間の事業内容を振り返って記念誌として纏めることを主な活動内容としています。OB会員と現役会員を繋ぎ、青年中央会を未来へ繋ぐことができるような記念誌を制作していきます。OB会員・現役会員の皆様におかれましてはインタビュー等お願いすることが多々あると思ひます。何卒、ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



12月例会開催

平成30年12月17日にガイナックスシアターホールAmで12月例会が開催された。冒頭の挨拶では秋里会長より「12月という事で期も半分を迎える事ができた。ここまで来れたのも会員の皆様のお陰であり、改めてお礼を述べたい。今月の例会は、中小企業におけるブランディングという事で個々の良さも一つのブランドだと思う。当会は会社の経営者、幹部クラスの集まりなので、是非とも多くを学び、自分の会社に持ち帰って頂きたい」と述べられた。



次におめでたいお知らせが2つも飛び込んできた。濱田県会長に第一子のご誕生され、「今年はいろいろな事があった1年だったが、最後に良い報告で締め括る事が出来、本当に良かった」と喜びを述べられた。続けて小坂会員よりご結婚の報告があり「これで足元を固める事が出来たので、今後の中央会活動をさらに励んでいきたい」と述べられた。



中小企業のブランディングを学ぶ

本例会では中小企業におけるブランディングの方法について学んだ。第1部では「ブランディングとは」と題して、スターブランド株式会社 粉奈健太郎氏にご講演を頂き、ブランディング化に成功した2つの事例をご紹介頂いた。非常に熱く中身の濃い素晴らしいプレゼンであり「粉奈健太郎」という一つのブランドの世界観に会場にいる会員全員が魅了された。



第2部では流通株式会社 代表取締役 江原剛氏と大山乳業農業協同組合 榎田勝文氏によるブランディングの成功事例をご紹介頂いた。両社とも地元企業であり、身近な所でもブランディングに成功している企業が存在しているという事は我々にとって強い励みとなった。



第3部では粉奈氏、江原氏、榎田氏の3名の講師の方々とコーディネーター役の石田会員によるパネルディスカッションが行われた。「ブランディングに必要な世界観をどこから見つけてくるのか」「今の世界観に決めた理由は何か」「ブランド力を身に付けるにはどうすれば良いか」等の多くの問いに対し、それぞれ丁寧に分かり易くご回答いただいた。



最後に榎田副会長より、「人口減少が進む中、ブランディングは非常に重要であり他社との違いを明確にして従業員やお客様に選ばれる企業となるよう取り組んでいきたい」と謝辞を述べられた。

中小企業である我々こそブランディングが必要なのだという事を改めて気付かされ、例会担当の広報委員会恵比木委員長が全会員へ伝えたかったブランディングの方法についての例会は大成功に終わった。
(記事:武田)

決戦!! 委員会対抗BATTLE!! eスポーツ大会開催!!

12月例会から場所を米子AZTiC laughsに移し、忘年懇親会が開催された。

冒頭、秋里会長から「12月例会終了とともに今期の前半戦が終了するが、この場を楽しんで後半戦に繋げてもらいたい。」と挨拶があり乾杯をした。このあと突如幕が上がリ、各委員長や各副会長をゲストボーカルに迎えた三代目TSCバンドがプロのライブさながらの演奏を披露した。

その後映像とBGMの演出とともに、委員会対抗の「eスポーツ選手権」が火蓋を切った。内容は対戦格闘ゲームで、1試



合に各委員会メンバー3名が参加し、1対1で対戦する一発勝負。委員会対抗で優勝を目指すトーナメント方式で行われた。ゲームキャラクターに変装した委員会もあり、爆笑を誘った。接戦が熱を帯び、逆転が会場を沸かせ、応援が飛び交い選手権は大いに盛り上がった。結果は、中村委員長が率いるビジネス経営委員会が優勝し、ボーナスステージとして、秋里会長と高塚専務理事の「使命感〜貪欲に学ぶ〜チーム」と対戦。見事に勝利した

ところで全試合が終了し、表彰式が行われた。優勝チームは、1位の賞金と合わせボーナスも獲得し、会場からは感嘆の声が漏れた。

最後には、卒会予定者とTSCバンドが再びステージに上がり演奏を披露、会場の熱気は最高潮に。そして、三輪直前会長より「大いに盛り上がり、良い振り返しができる懇親会だった。」との言葉で締めくくられた。

(記事:岡田)



12月例会を終えて

恵比木 健 (株松本油店 課長代理)



何かと慌ただしい12月、我々広報委員会が担当する例会にご参加いただいた皆さまに感謝を申し上げます。プランディングをしっかりと学びたいと思い、講師を3名もお招きし、3部構成で行った例会でしたがいかがだったでしょうか。多々反省することはありますが、有意義な時間になったはずです。皆さまにとって気付きや学びがあり、何かしらを所属企業にお持ち帰りいただけているのであれば喜びます。

我々広報委員会は例会の開催にあたり「とにかく会員の方々にとって学びが多く、そして楽しんでいただける時間にしよう。そのためにまずは自分たちが楽しまない！」と意識を共有して臨みました。忘年懇親会も含めその想いは伝わったでしょうか。最後になりましたが、とても新鮮で勉強になるお話をしていただいた粉奈様、江原様、榎田様の3名の講師と、事業を進めてきた委員会メンバーに感謝を申し上げます、ありがとうございました。

中央会主催 社会人交流会開催!



11月20日(火)・炉端かば米子店にて、当会主催の社会人交流会が開催されました。

我々西部青年中央会に多少なりとも興味を持つ方々を招き、相互の交流を通じて当会のアピールを行いました。



外部からの参加は17社19名と多数に上り、当会会員も含め総勢36名の交流会は大変な盛り上がりを見せました。会員拡大リーダーの足立駿(足立ふとん店・米子店店長)会員の挨拶の後、開会するや否やその場に居る全員がテーブルと人の隙間をぬって名刺交換に勤しむ様子は、正に異業種交流会。中央会での活動だけでは普段なかなか見られない光景で、とても新鮮な空気感を味わいました。

外部からの参加は17社19名と多数に上り、当会会員も含め総勢36名の交流会は大変な盛り上がりを見せました。会員拡大リーダーの足立駿(足立ふとん店・米子店店長)会員の挨拶の後、開会するや否やその場に居る

用意されていた当会紹介や席替え企画なども組み込む余地なくカットする程の盛況ぶり、参加頂いた外部の方から『中央会の雰囲気が良くわかる、楽しい時間だった』との感想が。

当会の活動や雰囲気を外部に発信し、尚且つ他業種の方とも交流を図れる当企画。これは次回開催も期待したいですね!

(記事:石田)



四十の手習い ~貪欲に学ぶ~

福島 利幸 (株シー・エイチ・エス 総務部長)

毎日日々の仕事をこなすのが精いっぱい、なかなか新しいことを始める機会がありませんでしたが、最近になって、ふと思いつきイラストレーターを習いに行っています。

初めて聞く専門用語のメモをとり、普段使っているエクセルと異なる操作に再々戸惑い、テキスト本を見ながら悪戦苦闘しています。まだまだ始めたばかりでこれからですが、私よりも年齢が先輩の方も来られているので負けられません(笑)。新しいことを始める(習う)のはけっこう楽しく、四十を超えた私の頭の中のキャパがいっぱいにならないければ、使いこなせるようになるまで頑張りたいと思います。さらに言えば仕事で使うことができるようになれば・・・何年かかるかなあ～とは思いますが。たとえ使いこなせるようにならなくても、きっと自分の人生にはプラスになる・・・はずなので頑張ります。



「卒会者便り」

41歳の誕生日である2015年2月17日、バツ子授受を受けて私の中央会活動はスタートしました。以来「これはアツい会だな」という確信の下、委員会や例会の場にて夜まで熱い学びを終えて、飲食を伴った深夜の本音トークを続け、どんどん横に厚くなる私の腹回り…。



そんな中、地域を盛り上げるためにチームでのトライアスロン出場を決めました。完全な中央会メンバーで編成できなかったものの、3期連続同じ委員会でもあった内田和也さんからの2つ返事のおかげで最初の1歩を踏み出せました。ほぼ変わらない私の体型に、トライアスロン経験者OBのHさん、K.Gさん、Sさんなどから心配されつつ当日を迎え、各地から集まった鉄人と同じ道中、衝撃のあまりシューズのソールが剥がれもしました。隠れる場所のない境港の暑い陽射しをこらえ、シャツの中にゆだったスポンジをためて傷ついたモバイルスーツのような姿でヨボヨボたどり着いたオアシスAS。会の仲間から声をかけられ、脚にエアサロをかけられたりしていると、本当に不思議なもので軽い足取りにてASを出発し、なんとかゴールまで足を運ぶことができました。仲間のおかげで限界を突破した驚きがありました!

私の場合にはトライアスロン出場でしたが、みなさんも在会中にぜひいろいろ挑戦してみてください。スポーツや地域活動でも、日々の事業や社会貢献でもいいと思います。つまりぜひ中央会という頼れる場所があれば、それは無謀な自殺行為ではなく、きっと成長できる挑戦になるはずです。本当にお世話になり、ありがとうございました!

From 上村卓弘 (ダイニチ技研機 代表取締役)

1月役員会報告

平成31年1月4日(金) 米子市観光センター第二会議室にて1月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・12月例会開催報告の件
 - ・新年例会開催の件
 - ・お地藏さまプロジェクトの件
 - ・2月例会開催の件
- ※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

我が家には、中学生の息子がいます。息子を怒る時、いつも私が母親に怒られていた時の事を思い出します。そう。私が子供の時と同じ事をして怒られているのです。そんな時、親子だなーと幸せになる自分がいます。

(広報委員会 武田 希)